右図の「cliconfg 起動」をクリックして、SQL クライアント 設定ユーティリティを起動します。



※以下の手順でも、SQL クライアント設定ユーティリティを起動することができます。

- キーボードの「Windows キー」+「R」を押し て、【ファイル名を指定して実行】画面を起動
- ②「C:¥Windows¥SysWOW64¥cliconfg」と入力→「OK」をクリック

□ ファイル名を指定して実行	×			
実行するプログラム名、または開くフォルダーやドキュメント名、インター ネット リソース名を入力してください。				
名前(<u>O</u>): C:¥Windows¥SysWOW64¥cliconfg ~]			
OK キャンセル 参照(<u>B</u>)				

「プロトコルが有効になる順序」が右図のように設定されているか確認します。
 右図のようになっていない場合は、以下の手順で設定してください。

A	SQL クライアント	没定ユーティリティ		
全般 別名 DB-Library オプション ネットワーク ライブラリ				
無効なブロトコル(<u>B</u>):	有効にする(<u>E</u>) >>) << 無効にする(<u>D</u>)	ブロトコルが有効になる順序(<u>N</u>): TCP/IP Named Pipes		
↓ ブロバティ(P) 「 ブロトコルの暗号化を設定する(Q) 「 共有メモリ ブロトコルを有効にする(M)				

 無効になっているプロトコルの「Named Pipes」、
 「TCP/IP」を選択して「有効にする」のボタンを選択し ます。

sq.	2L クライアント設定ユーティリティ
全般 別名 DB-Library オプション	ネットワーク ライブラリ
無がなプロトユル(B): Named Pipes TCP/IP	ブロトコルが有効になる順序(込): 有効にする(D) >> <<<
□ ブロトコルの暗号化を設定する(C) □ 共有メモリ ブロトコルを有効にする(M)	↑ Jロバティ(P)_
	OK キャンセル 適用(A) ヘルプ

 有効になっているプロトコルに「Named Pipes」、
 「TCP/IP」が入りましたら、「TCP/IP」が上段に来る ように「上矢印」ボタンで順番を入れ替えて、「OK」を 選択します。

A SQL クライアント設定ユーティリティ	×
全般 別名 DB-Library オブション ネットワーク ライブラリ	
無効なブロトコル(<u>B</u>): ブロトコルが有効になる順序(<u>N</u>): (<u>A</u>) (<u>A</u>)(<u>A</u>) (<u>A</u>	
「 ブロトコルの暗号化を設定する(©) 「 共有メモリ ブロトコルを有効にする(M)	
OK キャンセル 適用(A) ヘル	7

以上で SQL クライアント設定ユーティリティのプロトコルの設定は完了です。
 『どっと原価 NEO シリーズ』のアイコンをダブルクリックして起動してください。

58a	ユーザーログオン ×
原価管理システム	
2- ザ -	D admin
パスワー	*
	OK ++vzlu
ユーザーIDを入力します。	